

シャトレゼカントリークラブ小海 2026年クラブ選手権

柳澤 義直 選手(66歳)
逆転で2年ぶり、4度目の栄冠！



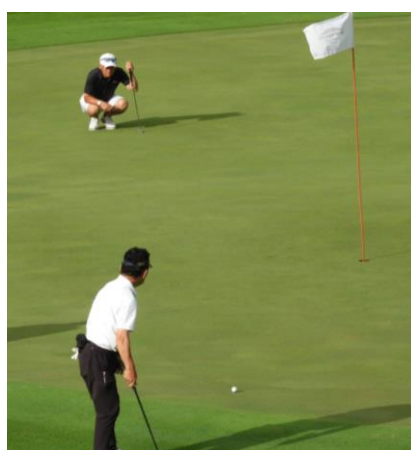
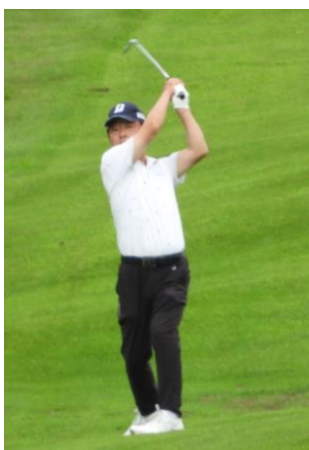
■開催日：令和8年7月25日(土)・26日(日)

■競技方法：2日間54ホールストロークプレー・スクラッチ競

■コンディション：25日(土)・晴れのち曇り ・グリーンスピード9.4フィート
26日(日)晴れ一時雨のち曇り ・グリーンスピード9.6フィート

※上位5位まで掲示

順位	Player	予選				決勝				TOTAL
		OUT	IN	OUT	グロス	IN	OUT	IN	グロス	
優勝	柳澤 義直	39	37	35	111	35	34	40	109	220
準優勝	内藤 久昭	38	37	35	110	39	39	39	117	227
第3位	丸山 将弘	37	35	44	116	36	38	39	113	229
第4位	井出 晴夫	39	43	40	122	38	39	41	118	240
第5位	塩川 源太郎	37	38	41	116	44	42	40	126	242



初日トップは内藤久昭選手。終始安定したプレーで最初のラウンドを+3の75、後半ハーフを-1の35とし、1.5Rを+2とまとめた。続く2位には4度目の栄冠を目指す柳澤義直選手が1打差で追う展開に。前年優勝者の丸山将弘選手は1R目をパープレーの72とし、後半ハーフを迎えたが、300ヤードを超えるドライバーショットが乱れ、トップと5打差の3位タイで決勝を迎えた。

決勝の前半ハーフの2ホール目の11番でトップの内藤選手がショットとパットの乱れにより、ダブルボギーとしたのに対し、柳澤選手はしっかりとバーディパットを決め、1ホールで一気に逆転。その後、柳澤選手は要所でバーディを決め、終始安定したプレーで1R目を-3の69とし、2位の内藤選手に8打差まで広げ、最終ハーフを迎えた。ノーボギーの柳澤選手に対して、他の選手がボギーとする展開が続き、迎えた最終ホールこそショットとアプローチ、パターが乱れダブルボギーとしたが、2位に7打差の大差をつけ、2年ぶり4度目の優勝を飾った。